

Perle 社 ターミナルサーバ IOLAN STS8 と 富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1 の 接続検証結果報告書 (Windows Server 2012 R2 Standard 版)

株式会社 昌新
技術部

1. 作業実施概要

Perle 社 ターミナルサーバ IOLAN STS8(以降 IOLAN STS8 と略)と、富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1 (Windows Server 2012 R2 Standard)との 接続・動作確認 を実施致しました。

2. 被検証装置

品名	型名	記事
富士通 PC サーバ	PRIMERGY RX2520 M1	OS : Windows Server 2012 R2 Standard Service Pack(SP) : Update ビット数:64ビット シリアルポート(D-SUB9ピン)×1 (オプション付)
Perle 社 ターミナルサーバ	IOLAN STS8	Firm Version 2.6

富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1



IOLAN STS8



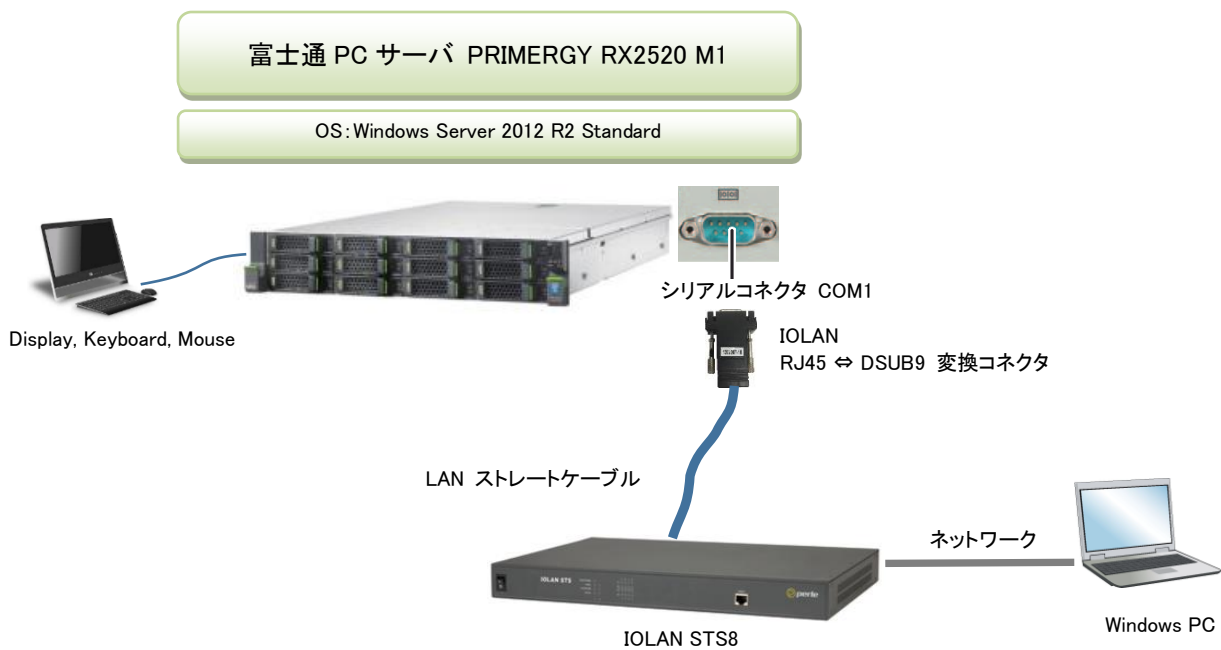
3. 作業期間

2016年01月25日～29日

4. 作業場所

富士通検証センター(東京・浜松町)

5. 実施システム構成(概要)



- (1) PRIMERGY RX2520 M1 (Windows Server 2012 R2 Standard)
- (2) IOLAN STS8
- (3) Windows PC(ノートパソコン)

6. 検証項目

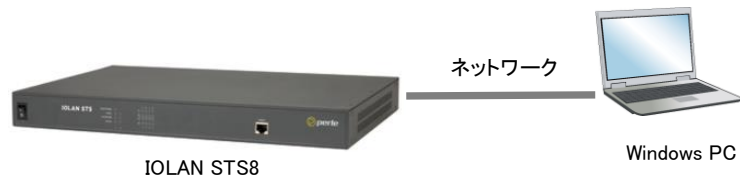
- 1) Windows PC から、IOLAN STS8 へアクセスし、所要の設定 (ネットワーク設定, Console Management Profile の設定)が、出来る事。
- 2) PRIMERGY RX2520 M1 で動作する Windows Server 2012 R2 Standard の Special Administration Console (SAC) 操作が、Windows PC の WEB ブラウザーから、IOLAN STS8 を経由して、支障無く行える事。

7. 接続手順

7-1. IOLAN STS8 の設定

1). 準備するツール と 接続

- ・Perle 社提供ユーティリティ IOLAN DeviceManager V4.6 (以降、IOLAN DeviceManager と略)
- ・Windows PC + Web ブラウザー(java 対応)

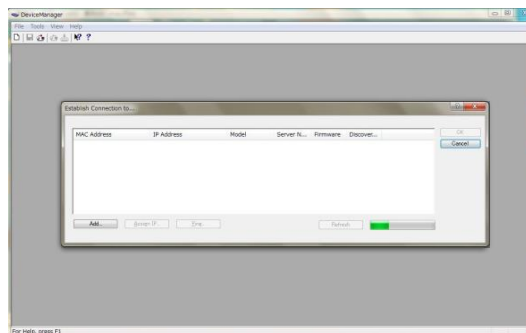


2). IOLAN STS8 と Windows PC とを HUB 経由で、それぞれの電源を ON します。

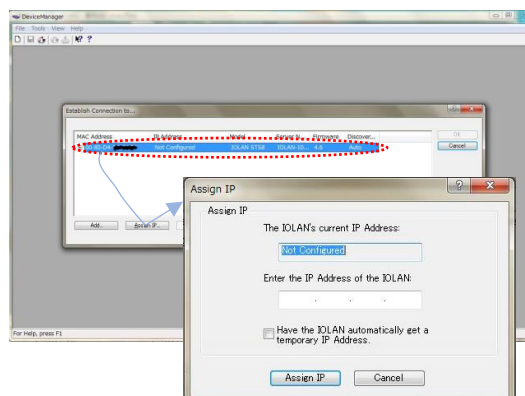
3). Windows PC に IOLAN DeviceManager をインストールします。

4). IOLAN STS8 を IOLAN DeviceManager で設定します。

- ・IOLAN DeviceManager を起動しますと、自動的にローカルネットワーク内の Perle 社デバイスの検索が始まります。



- ・接続している IOLAN STS8 と、検索で表示された Mac Address が同じであることを確認後、Mac Address の行をワンクリック、さらにアクティブになった Assign IP ボタンをクリックし、IP アドレスをアサインします。

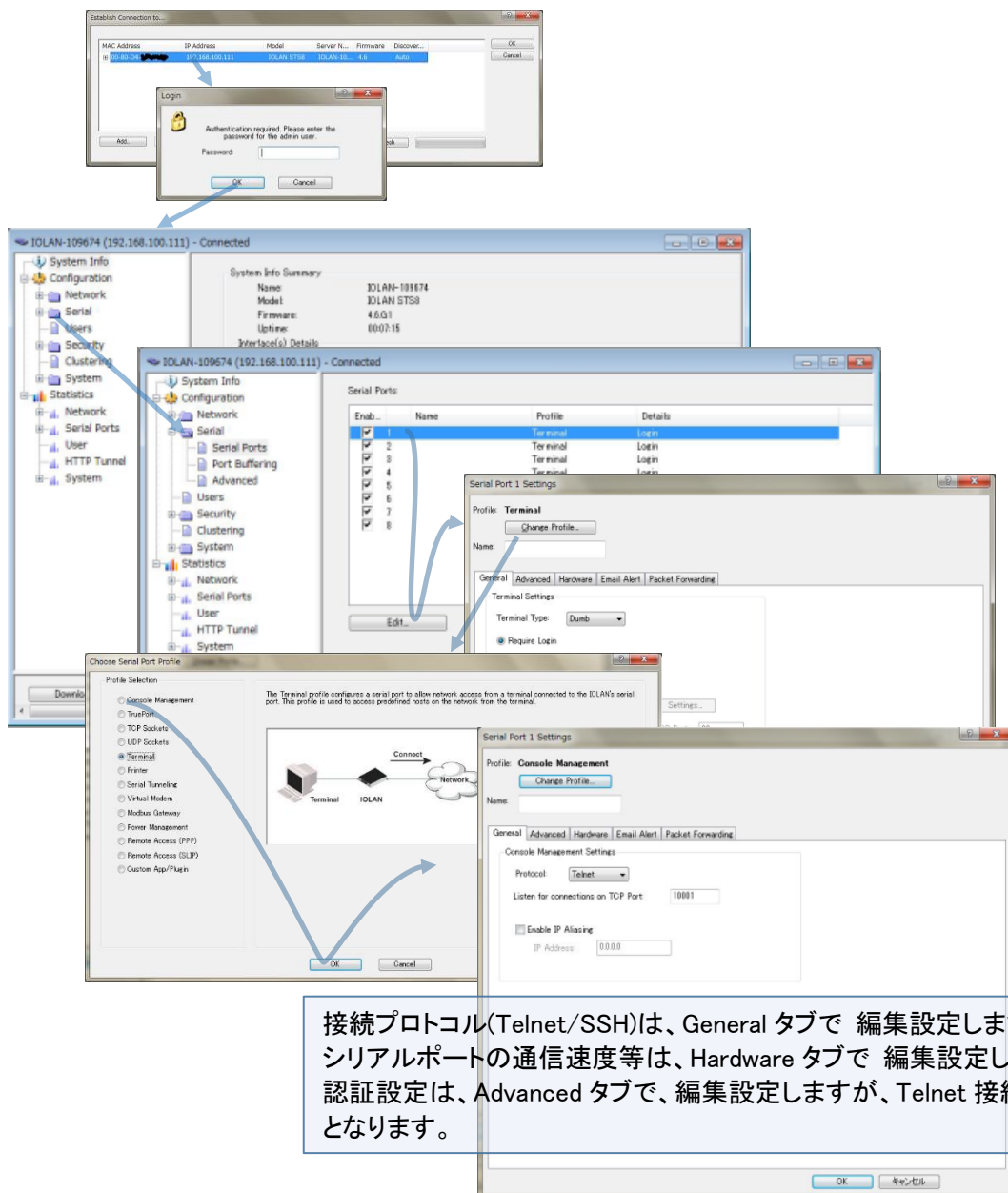


- Assign IP 画面で IP アドレスを設定後、Assign IP ボタンをクリックし、変更を確定させます。



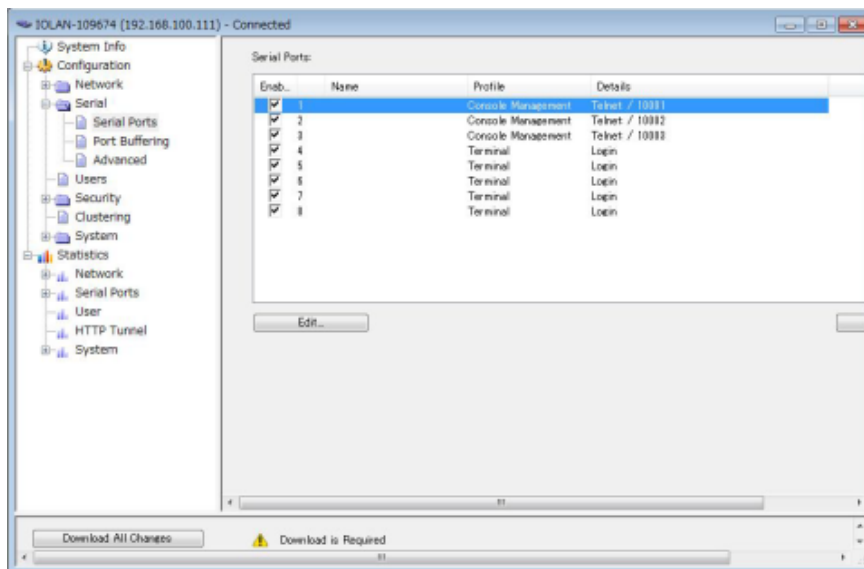
説明サンプルでは、192.168.100.111 の IP アドレスを使っております。

- シリアルポートを Console Management Profile に設定します。
使用するポートの Profile 設定を Console Management に設定します。
説明サンプルでは、Port#1,2,3 と、3つのポートを Console Management にします。
Port#1 を設定後、同様に Port#2,3 の設定を行うか、Port#1 の設定を、コピー機能を使って Port#2,3 へコピーします。



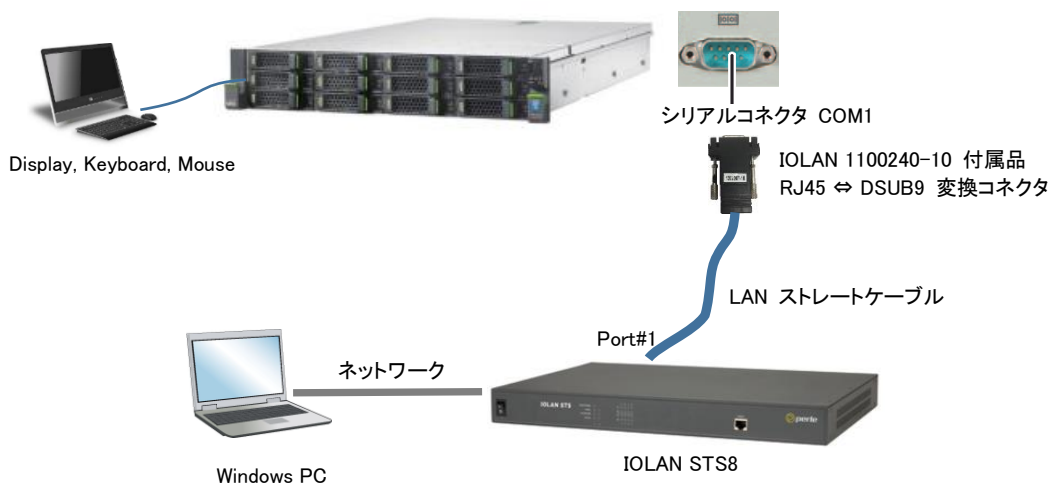
接続プロトコル(Telnet/SSH)は、General タブで 編集設定します。
シリアルポートの通信速度等は、Hardware タブで 編集設定します。
認証設定は、Advanced タブで、編集設定しますが、Telnet 接続のみ有効となります。

Port#1,2,3 を Console Management Profile に設定完了した画面は、次になります。



5). IOLAN STS8 と PRIMERGY RX2520 M1 とのシリアル接続

IOLAN STS8 の Port#1 を使用して、PRIMERGY RX2520 M1 のシリアルポートを接続します。



以上の設定で、IOLAN STS8 に接続しましたシリアルコンソールに、アクセスする事が出来るようになります。

7-2. PRIMERGY RX2520 M1 のシリアルポート(オプション)有効設定

PRIMERGY RX2520 M1 背面パネルのシリアルポート(オプション)を有効設定に変更しました。

- a. PRIMERGY RX2520 M1 の電源 OFF である事を確認しました。
- b. キーボード、マウス、Display が接続されているのを確認後、PRIMERGY RX2520 M1 の電源を ON しました。
- c. FUJITSU Server PRIMERGY TX2560 M1 / RX2560 M1 用 D3239 BIOS セットアップユーティリティ リファレンスマニュアル “2.2 Boot メニューを直ちに開く” に従い、Boot メニューを開きました。



- d. “Advanced”⇒“Super IO Configuration”⇒“Serial Port 1 Configuration” から、シリアルポート 1 のパラメータを Enable に設定(シリアルポートを有効設定)後、再起動しました。

7-3. Windows Server 2012 R2 Standard 管理コンソールアクセス設定

Windows Server 2012 R2 Standard の Special Administration Console (SAC) をシリアルポート経由でアクセスするように、次の通り設定しました。

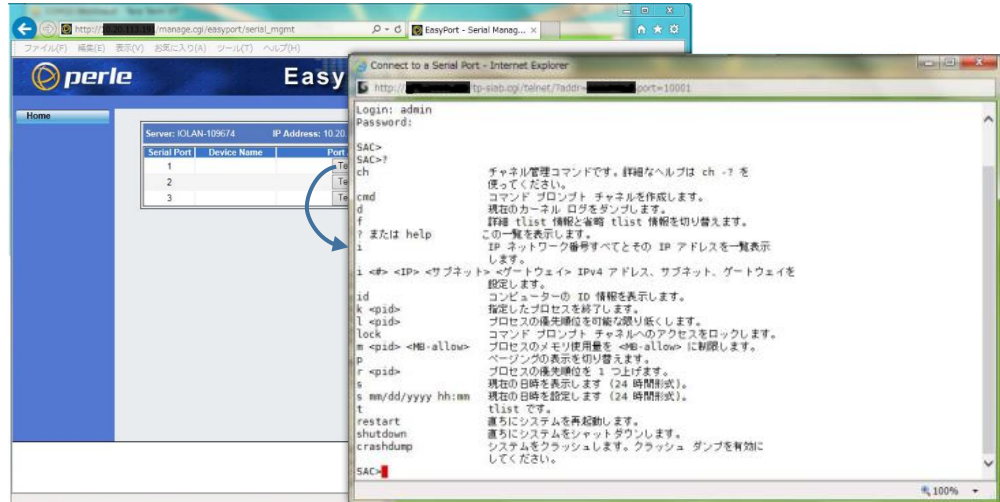
Windows Server 2012 R2 の起動後に、コマンドプロンプトを管理者権限で実行し、以下のコマンドを実行しました。

```
C:> bcdedit /ems ON
C:> bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:9600
```

次に、OS を再起動しました。

8. 検証結果

PRIMERGY RX2520 M1 で動作する Windows Server 2012 R2 の Special Administration Console (SAC) 機能へ、ターミナルサーバ IOLAN STS8 の ConsoleManagement 機能を使用して、支障なく SAC アクセスが出来る事を確認いたしました。



※ ご注意

ご不明点等があれば、下記連絡先まで、お問い合わせ下さい。

お問合せ先
株式会社昌新
情報システム営業部
TEL:03-3270-5926
E-mail: IS@shoshin.co.jp

以上